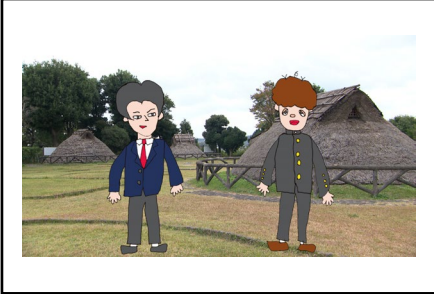
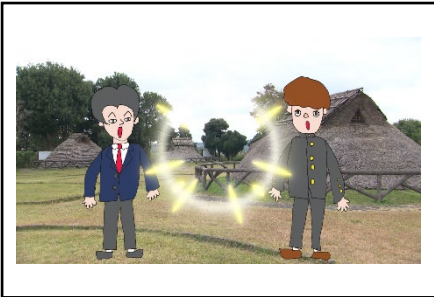


第3話「みんなで大活躍！in 地域防災拠点」（再生時間 4分 39秒）



ハマノ：じゃ磯子区が誇る遺跡見てきますか  
イソゴ：はあ…。そうだね  
ハマノ：どうしたよ、ため息ついて  
イソゴ：いやあさっきさ、  
大きい荷物持ってるおばあさん見かけたんだけどさ  
何も声掛けられなくてさ…  
ハマノ：そうなんだ…  
でも声掛けてあげたいよな  
イソゴ：そうだよね…  
ハマノ：何持ってたの？  
イソゴ：うん、冷蔵庫  
ハマノ：冷蔵庫？おばあさんが？  
イソゴ：そうそう、多分あれ業務用だと思うんだけど  
ハマノ：業務用の冷蔵庫…？そうか…  
イソゴ：そういう時お前だったらどうするかなーって  
思ってたさ…  
ハマノ：確かにそれは声掛けづらいよな…  
イソゴ：うん…うわ！？



ハマノ：え！？  
イソゴ：ちょっと待って何で！？  
ハマノ：今、防災の話してないけど！？

サイミ：はあ～い…私のこと、呼んだ？  
ハマノ：雰囲気変わってない？  
イソゴ：多分呼んでないし！  
サイミ：そろそろ私の違うところも見せておこうと思って  
ハマノ：何かあった？

サイミ：私は防災のことなら何でも知っている天使・防災美よ  
ハマノ：お～これはこれで良い！  
イソゴ：良いんだ…





サイミ：こちらは大きな災害が起こった時に  
開設される地域防災拠点  
ここでも君たちにできることはたくさんあるんです！

ハマノ：本当に～？

サイミ：地域防災拠点は、避難者も含めて全員が一丸となって  
開設して運営する場所。  
何が出来るのか一緒に見ていきましょう！



サイミ：例えばこちらは  
地域防災拠点で避難生活をするための受付

ハマノ：こんなものがあるんだ

サイミ：ここでは受付の手伝いをしたり  
避難者の誘導をしたりすることができます



中学生：こちらどうぞ～

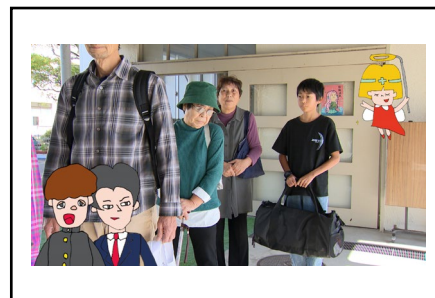
ハマノ：これなら手伝えそう

サイミ：他にも受付にはペット専用の場所もあるから  
動物が好きな子はそこでも活躍できるかも！

イソゴ：これはおれもできそうだ！

サイミ：そして重そうな荷物を抱えている方には…

中学生：荷物重くないですか？持ちますよ



イソゴ：これだこれだ、これだったんだあ

ハマノ：かっこいいね

中学生：お家大丈夫でした？

サイミ：中学生たちが積極的に避難者の力になってあげること  
で地域防災拠点には安心感が生まれるの。

そして何より…

ハマノ&イソゴ：何より？

サイミ：モテるわ！

ハマノ&イソゴ：えーっ！！

イソゴ：ちょっとそれじゃあ他にもどンドン下さ〜い！

サイミ：では地域防災拠点での行動で言うと…



中学生：こんにちは、非常食足りてますか？

サイミ：生活に必要な不可欠な非常食や飲み物を配ってあげたり  
…体調の悪そうな方がいたら

中学生：大丈夫ですか？

どこか悪いところはありませんか

サイミ：声をかけてあげたり…



中学生：こちら授乳室です

サイミ：小さい子を持つお母さんのサポートも  
忘れちゃいけないわよ

中学生：こちらどうぞ

女性：ありがとうございます



イソゴ：地域防災拠点にも授乳室があるんだね！

サイミ：さらにこんな事態も起こりうるかも…！

男性A：もしもし！はみ出てるよ！

男性B：…どうしたって？

男性A：君の足はこっち！

サイミ：揉め事があつたら無理のない範囲で  
仲裁に入ってあげましょう

中学生：どうしたんですか？大丈夫ですか？

ハマノ：サイミちゃんこれはハードル高くない？

サイミ：無理のない範囲で大丈夫よ

